

頚椎固定の手術を受けられる患者さんへ

患者ID
氏名

担当医
担当看護師
配布日

	入院:1病日	2病日		3病日	4病日	5病日	6~8病日	9病日	10~14病日	15~17病日:退院
	手術1日前	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目	手術後4~6日目	手術後7日目	手術後8~12日目	手術後13~15日目
達成目標	・手術後の経過について理解できる		・循環動態が安定している		・離床ができる				・創部の発赤、浸出液がない ・38.0度以上の発熱がない	・退院指導の内容を理解できる
			・麻痺の進行がない ・頚部の良肢位を保持できている							
	・痛みによる苦痛がない									
内服	・薬剤師が、持参薬および服薬状況について確認します			・痛み止めを1日2回、朝・夕食後に内服します（7日間） ・胃薬を1日1回、朝食後に内服します（7日間）						
手術		手術								
注射		・点滴をします			・点滴を抜きます					
検査	・採血 ・身長・体重測定		・採血	・採血		・採血		・採血 ・レントゲン		・採血/レントゲン (手術後14日目) ・体重測定(退院日)
処置		・弾性ストッキングを着用します	・フットポンプをつけます	・フットポンプを外します ・尿の管を抜きます		・歩行後は、弾性ストッキングを脱ぎます				
			・手術室で尿の管を入れます	・手術室で創部にドレーン(管)を入れます ・心電図、酸素飽和度モニターをつけます		・創部のドレーンを抜きます ・心電図、酸素飽和度モニターを外します				
食事	・夕食後は、指示された時間から、飲食はできません	・飲食はできません	・帰宅後6時間は飲水できません。医師の指示後、少量の飲水はできます	・朝食(常食)から開始となります	・制限はありません					
活動・安静			・ベッド上安静です。強くひねらないように横向きになれます ・頭元を上げたい時は、ナースコールでお知らせください ・排泄はベッド上で行います	・カラーを着けて頭元を上げられます ・ドレーンが抜けないように注意し、ポータブルトイレを使用できます	・ドレーン抜去後は、カラーを着けて看護師付き添いでトイレに行けます ・歩行が安定したら制限ありません					
清潔	・シャワー浴をしてください	・洗面、歯磨きを済ませてください	・洗面、歯磨きを介助します	・身体を拭きます		・洗髪をします	・シャワー浴ができます			
リハビリ			・リハビリテーションが始まります							
説明	・入院オリエンテーションを行います ・医師が手術の説明をします ・手術室の看護師が、手術に伴う確認や諸説明をします ・本用紙を用いて、治療スケジュールについて説明します ・転倒転落予防について説明します ・深部静脈血栓症予防の説明をします ・術前オリエンテーションを行います									・「頚椎の手術を受けられた患者さんへ」のパンフレットを用いて、退院後の生活について説明します
その他	・同意書は職員にお渡しください ・手足の爪を切り、マニキュアは落としてください ・化粧は落としてください ・深呼吸、床上運動などの術前訓練をします 【必要物品】 ・T手帯2枚 ・平オムツ2枚(院内コンビニにて販売) ・曲がるストロー又は薬のみ ・スプーンやフォーク(必要時) ・リハビリテーションで着用するズボンや靴	・手術衣に着替えます ・義歯、コンタクトレンズ、時計、アクセサリー等は外し、各自保管してください。メガネと補聴器は必要時、手術室までつけていきます ・貴重品は、ご自身又はご家族で管理してください ・ご家族は2階ディルム・面談室で待機してください。場所を移動される時は必ず職員へお声掛けください	・集中治療室に入室します ・入室中のご家族は、集中治療室前の家族控室をご利用ください	・状態に合わせて病室に移動します						なんでも ご相談 ください
			・痛みがあれば鎮痛剤を使用しますので、我慢せずにお知らせください		・深部静脈血栓症予防のため、足首の反り返しや膝の曲げ伸ばしを行ってください					
			・コルセットの代金は、保険診療外となるため一旦自費となりますが、健康保険給付の申請後に払い戻しがあります。申請用紙は業者がお渡しします							

診療計画、入院期間は現時点での予定です。今後、状態の変化によって変更されることがあります。不明な点がありましたらいつでもお尋ねください。